

平成26・27年度 事業報告



第66回全国植樹祭石川県実行委員会



第66回全国植樹祭の開催状況



第66回全国植樹祭の開催経過

- 平成23年 12月26日 石川県開催申請
 - 平成24年 8月29日 石川県開催決定
 - 平成24年 9月 7日 基本構想検討委員会設置
 - 平成25年 2月15日 開催会場決定
 - 平成25年 3月26日 基本構想策定
 - 平成25年 8月 5日 実行委員会設立総会
 - 平成26年 2月 5日 基本計画決定
-
- 平成26年 5月18日 全国植樹祭プレ大会開催
 - 平成26年 8月 8日 開催日決定
 - 平成27年 2月10日 実施計画決定
 - 平成27年 5月17日 第66回全国植樹祭開催



第66回全国植樹祭の開催概要

《参加者総数》

招待者 7, 168人
 (県外招待者 1, 517人
 県内招待者 5, 651人)
 出演者等 1, 727人

実施本部員等 1, 992人
 (実施本部員 1, 414人
 ボランティア等 264人
 協力員(市町) 314人)
合 計 10, 887人

《式典プログラム》

時間	プログラム
■プロローグ	
10:10 ～ 10:55	プロローグ開始
	オープニング映像
	アトラクション
	大会概要紹介
	感謝状贈呈
	東日本大震災復興支援
	記念切手贈呈
	記念式典案内・奉迎準備

時間	プログラム
■記念式典	
11:00 ～ 11:50	天皇后両陛下 御到着
	開会のことば
	三旗掲揚・国歌斉唱
	主催者挨拶
	表彰
	苗木の贈呈
	お手植え・お手播き 代表者記念植樹
	大会テーマ表現
	大会宣言
	リレーセレモニー
	閉会のことば
	天皇后両陛下 御退席
	記念式典終了

時間	プログラム
■エピローグ	
11:50 ～ 12:20	石川の祭り・芸能披露
	大会参加者へのメッセージ
	グランドフィナーレ



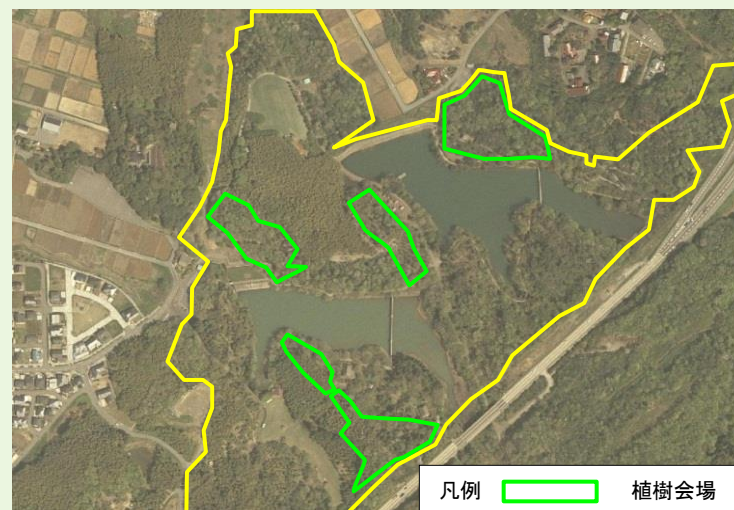
植樹会場

各植樹会場では、招待者により、30種 約8千本の苗木が植樹されました。

木場潟公園会場



憩いの森会場





サテライト会場

多くの方が全国植樹祭を体感できるよう、県内3か所にサテライト会場を設け、式典行事のライブ中継の他、様々な催しが行われました。

〔会場位置図〕



①能登会場 〈のと里山空港〉



来場者 約2,500人



②金沢会場 〈しいのき迎賓館〉



来場者 約5,000人



③加賀会場 〈小松市市民公園〉



来場者 約7,000人





大会運営の状況



大会の運営方針

1. 県民の参加と協力

大会の成功に向け、企業、団体、個人、地域、学校など、多くの方々の協力により、開催準備や大会運営を行う。

2. 大会理念の実践と発信

全国植樹祭では初めて、「森林資源の利活用」の理念を大会テーマに盛り込み、開催準備期間、大会終了後も、大会理念の実践と発信を行う。

3. 前回大会とのつながりを意識

本県における「県民参加の森づくり」の大きな契機となった、前回大会(S58)とのつながりを意識した取り組みを行う。

4. いしかわの魅力のPR

北陸新幹線金沢開業という記念すべき年に、全国各地から大会に参加された多くの方々に、再訪を促すため、本県の魅力を様々な形でPRする。

5. 趣向を凝らした式典演出

本県に連綿として伝わる「木を活かす技と心」、森林に育まれる豊かなふるさと「いしかわの里山里海」を映像、音楽、ダンス、本物志向の設えで訴求する。

1 県民の参加と協力

(1) 記念植樹用苗木の育成への協力

記念植樹等で使用する苗木の一部を、学校や家庭、職場等で育成。

① どんぐりのホームステイ

〔時 期〕 平成25年春季～

〔規 模〕 育成ポット数 約1,800個（小学校45校、個人約90名）

〔内 容〕 県内の児童等がどんぐりから苗木を育成



② 苗木のホームステイ

〔時 期〕 平成26年春季～

〔規 模〕 育成ポット数 約2,500個（企業・学校等約40団体、個人約80名）

〔内 容〕 県内の企業や団体等が、稚苗から苗木を育成



(2) 各種イベントへの開催協力

① 応援イベント

第66回全国植樹祭の開催理念に賛同いただいた企業・団体等が実施する緑化イベントなどを応援イベントとして位置づけ、第66回全国植樹祭の開催をPR。

〔時 期〕 平成26年4月～平成27年4月

〔場 所〕 県内各地域116事業 〔参加人数〕 約15,000人

〔内 容〕 植樹、森林整備、森林資源の利活用体験等



② 全国植樹祭プレ大会

第66回全国植樹祭の開催気運の醸成と、県民参加による森づくりを推進することを目的に開催。

〔時 期〕 平成26年5月18日（日）

〔場 所〕 木場潟公園中央園地 〔参加人数〕 約15,000人

〔内 容〕 式典、記念植樹、木工体験、展示など

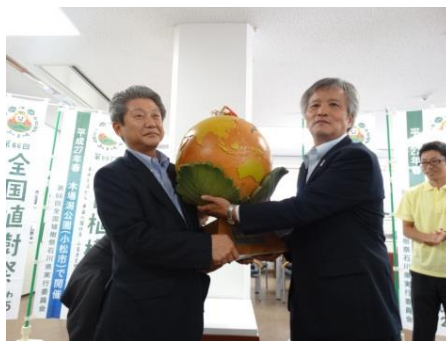


(3) 全市町参画による全県的な取り組み

①全国植樹祭シンボル「木製地球儀」巡回展示

「木製地球儀」を県内全市町で巡回展示（珠洲市～小松市）

〔時 期〕 平成26年8月5日～平成27年4月10日



②地域リレー植樹

第66回全国植樹祭の開催気運の醸成と、県民参加による森づくりを推進することを目的に、県内全19市町が、それぞれの特色を活かした植樹イベント等を実施。

〔時 期〕 平成26年10月～平成27年4月

〔場 所〕 県内21箇所 〔参加人数〕 約2,000人（植樹本数 約7,000本）

〔内 容〕 植樹、森林整備、森林資源の利活用体験等



(4) 県民参加によるお手播き用の種子採取

第66回全国植樹祭のお手播き行事で使用する種子を
県民が採取。(4種のうち、2種)

①クヌギの種子採取(天皇陛下お手播き)

〔時 期〕 平成26年10月26日(日)

〔場 所〕 珠洲市東山中町

〔内 容〕 世界農業遺産に認定された能登地区のクヌギ林から種子採取



②トチノキの種子採取(皇后陛下お手播き)

〔時 期〕 平成26年9月24日(水)

〔場 所〕 白山市白峰

〔内 容〕 国の天然記念物「太田の大トチノキ」から種子採取



(5) 一般参加者の県内公募

OFAX、郵送、インターネットによる応募受付
○各種イベント、コンビニ等にてPR実施

募集期間：平成26年10月1日～11月20日

応募者数：6, 160人(募集人数 3, 000人)



応募ガイド



新聞広告

(6) カウントダウンイベント

第66回全国植樹祭の開催周知のため、児童、生徒等の協力によるカウントダウンボードの設置。

① カウントダウンボードの設置及び除幕式

〔時 期〕 平成26年11月8日（土）

〔場 所〕 JR小松駅



J R小松駅

〔時 期〕 平成26年12月2日（火）

〔場 所〕 石川県庁1階ロビー

② 式典音楽隊公開練習会・カウントダウンボード除幕式

〔時 期〕 平成27年2月11日（水）

〔場 所〕 サイエンスヒルズこまつ

〔備 考〕 除幕後、カウントダウンボードは、木場潟公園センターへ移設



県庁1階ロビー



サイエンスヒルズこまつ



カウントダウンボードの製作協力
(県立大聖寺実業高校)



カウントダウンボードの飾り付け協力
(みなと保育園)

(7) 県民手づくりの式典

式典行事に出演いただいた多くの県民が、本番に向けた練習に励みました。

○4月 4日（土）	式典リハーサル、荒天会場説明会	〈参加 約 440人〉
○4月18日（土）	総合リハーサル（エピローグ部分）	〈参加 約 200人〉
4月19日（日）	総合リハーサル	〈参加 約1,100人〉
○4月27日（月）	歓迎レセプションリハーサル	〈参加 約 120人〉
○5月16日（土）	前日リハーサル	〈参加 約2,400人〉

※ その他、各部門毎の合同練習会を随時実施



司会進行のリハーサル風景



記念式典のリハーサル風景



アトラクションのリハーサル風景

2 大会理念の実践と発信

(1) 大会理念を象徴するお野立所

メイン施設のお野立所には、県木アテ(能登ヒバ)と主要樹種であるスギを使用。
木組みの技をイメージした屋根構造に加え、内部には、本県における森林資源の利活用の特徴でもある伝統工芸の技を活用した「漆塗り」の門型装飾と「加賀金箔」をあしらった木製の屏風を設置。



冠雪を頂く白山とその裾野をイメージしたお野立て所



漆塗りの門柱、加賀金箔の木製金屏風



(2) 県産材を積極的に活用した会場整備

○式典会場入場ゲート（スギ）



○ウエルカムボード（スギ）



○アテ葉、ササユリ棚（能登ヒバ）



○木製ベンチ（スギ）



○木製プランターカバー（スギ）



○三旗掲揚ポール（能登ヒバ）



(3) 記念シンポジウム

「森林資源の利活用」の重要性を県内外に向けて発信することを目的に開催。

〔時 期〕 平成26年10月27日（月）～28日（火）
〔場 所〕 石川県地場産業振興センター、金沢市民芸術村「里山の家」他（金沢市）
〔内 容〕 基調講演、パネルディスカッションなど
〔参加人数〕 約400人



(4) 周知活動

各種広報活動を通じて「森林資源の利活用」の重要性を発信。

- 小学校等への出前講座
- バス等、車輛へのステッカー貼付によるPR
- 植樹祭だより、大会HP等による情報発信
- 県市町広報誌、郵便局、コンビニ等を活用した周知
- 大会ポスター、懸垂幕、各種PRグッズ等によるPR



出前講座



路線バスへのステッカー

3 前回大会とのつながりを意識

(1) 式典備品等の製作

昭和58年開催の第34回全国植樹祭で、昭和天皇がお手播きされたスギの間伐材を活用し、お鋤等の式典備品やプランターカバーを県内工業高等学校の生徒が製作。



昭和天皇によるお手播きの様子



お手播きスギの造林地



金沢市立工業高等学校
(お鋤、プランターカバー)

(2) 天皇皇后両陛下ご使用のお椅子

昭和天皇が前回大会の行幸の際に、ご使用になった「お椅子」を、お野立て所で天皇皇后両陛下にご使用いただきました。



ご使用頂いたお椅子



県立小松工業高等学校
(お種入れ枴、お絞り受け等)

4 いしかわの魅力のPR

(1) おもてなし広場

県内各地の郷土芸能等を紹介するステージのほか、森林・林業の取り組み等を紹介する展示コーナー、県内特産品の飲食・物販ブースにより招待者を迎えました。

○ 郷土芸能等ステージ



手取亢龍太鼓若鮎組による和太鼓



加賀とびはしご登り保存会による
「子どもはしご登り」



近岡町獅子舞保存会による「加賀獅子」

○ 飲食・物販ブース



賑わう飲食・物販ブース



野点



林業機械の実演

(2) 大会弁当

石川県食材をふんだんに活用し、石川の食の魅力をアピール。



- ① 県産甘エビの唐揚げ
- ② 県産たけのこの煮物
(大野醤油使用)
- ③ 抹茶寒天白玉小豆添え
(能登大納言小豆使用)
- ④ 中島菜ご飯(県産コシヒカリ)
- ⑤ ちらし寿司(県産コシヒカリ)
- ⑥ 古代米ご飯(県産コシヒカリ)
- ⑦ 県産豚のデミグラスソテー
- ⑧ 治部煮
- ⑨ きゅうりとイカの和え物
(加賀太きゅうり)



弁当容器デザイン

(3) 大会参加記念品

大会理念にちなみ、木製品を中心に伝統工芸品等を選定



拭き漆碗(山中漆器)



塗り箸(輪島塗・山中漆器)



木製皿(白山杉)



木製折り紙(能登産杉)



木箱(能登ヒバ)

5 趣向を凝らした式典演出

(1) プロローグ

○オープニング映像

“日本の良き伝統と個性が香り立つ石川県”をコンセプトに、豊かな森に育まれてきた石川県の姿を紹介するオープニング映像を放映。

○プロローグアトラクション

本県が古くから森林資源の豊かな土地柄であり、木とともに生きる心、木を活かす技が連綿として受け継がれている様子を、ストーリー性を持った演出で表現。



会場に大木を再現



本県ゆかりの万葉集の歌を題材



木場湯ゆかりの木遣りを活用



往時を偲ばせる巨木を再現



木と道具が響き合うソフ°風音楽とダンス



演出に林業機械を活用

(2) 記念式典

○お手植え・お手播き

前回大会(S58年)で、昭和天皇がお手播きされたスギの間伐材を活用したお鋤でお手植えをいただきました。また、お手播きでは、県民が採取した種子をお使いいただきました。



お鋤等の製作場面



トチノキ種子採取の様子

○大会テーマ表現

石川の豊かな里山里海を構成する「森・川・海・里」のつながりを創作ダンスとメッセージ等で表現。



緑を湛える元気な「森」



ふるさとを潤す「川」



銀鱗舞う「海」



恵多き「里」



森・川・海・里のメッセージ



曳山と子供歌舞伎による演出

(3) エピローグ

○石川の祭り・芸能披露

本県の魅力の一つである祭り・芸能を披露。



焔太鼓



山代大田楽



お熊甲祭り

(4) 会場設営

○巨木のスピーカータワー



栢の大杉



太田のトチノキ

○特色ある花による会場飾花



エアリフローラ



ノトキリシマツツジ



ササユリ



大会後の取り組み

（１）東日本大震災復興支援

東日本大震災からの早期復興を願い、津波で流出した海岸防災林の再生を支援するため、岩手、宮城、福島の前北3県に対し、石川県で開発した抵抗性クロマツ(各県1,000本)を贈呈。



式典での目録贈呈の様子



石川県から東北3県へ

〈植林後の状況〉



岩手県(山田町浦の浜地区)



宮城県(亘理町吉田字砂浜地内)



福島県(相馬市磯部字大洲地内)

(2) 式典備品の展示

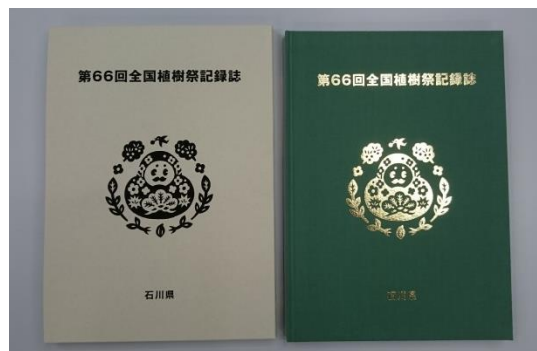
第66回全国植樹祭の感動を永く記憶にとどめ、開催意義を継承していくため、県農林総合研究センター林業試験場展示館内において、式典備品の展示コーナーを設置。

※平成27年8月3日(月)～31日(月)の間は、木場潟公園センターにてメモリアル展示を実施



(3) 記録誌・DVDの制作

第66回全国植樹祭の感動を永く記録として伝えるとともに、より多くの方々が森づくり活動に積極的に取り組まれることを願い作成。



記録誌



記録DVD

(4) 林業北陸サミット会議

林業復活・地域創生を推進する国民会議の協力のもと、大会で掲げた開催理念を伝え広げることが目的として開催。

〔時 期〕 平成27年10月21日（水）～22日（木）

〔場 所〕 (1日目)石川県立音楽堂 (2日目)コマツ栗津工場、加賀森林組合那谷工場ほか

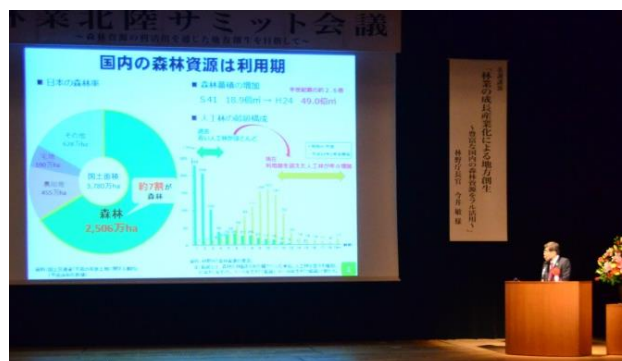
〔内 容〕 (1日目)基調講演、基調報告、事例発表等 (2日目)現地視察

〔参加人数〕 約650人



主催者あいさつ

〈三村明夫国民議会議長（日本商工会議所会頭）〉



基調講演



現地視察

(5) 各種コンベンション参加者への大会理念PR

各種コンベンション主催者とのタイアップにより、県産材を用いた割り箸等で大会理念をPR



箸袋の裏に大会理念を記載



各種コンベンション

(6) 御製碑の建立等

- 天皇皇后両陛下の行幸啓を記念するとともに、大会の意義と感動を永く後世に伝えるため、御製碑を建立。
- お手植え木を御製碑建立に合わせ移植。本県の森林づくりのシンボルとして、大切に管理・育成。
- お野立て所は、御製碑隣接地に移築し、野外ステージ兼屋外休憩所として有効活用。

